

あいのり

Monthly

2025.5.30

5月のマーケット概要

5月は、政治的な動きやニュースが多くあった一方で、マーケットは1ヶ月を通じて堅調な相場展開となり、殆どの市場で4月2日のトランプ関税発表以降の下落を取り戻しました。

経済は、関税適用の90日の停止期間に各国と交渉が進められている中、懸念されていたスタグフレーションは未だ見られておらず、第1四半期の米実質GDPは年率換算で▲0.2%となったものの、トランプ関税の駆け込み需要による輸入急増の要因が大きく、実態的には景気の後退を示すものではないと考えます。

またインフレデータも緩やかであり、月末に発表されたPCEデフレータが+2.1%、コアデフレータも+2.5%と、FRBの経済予測で示されていたインフレ数値を下回っています。今後トランプ関税の影響は、早ければ6月、駆け込み輸入後の在庫が減少するとされる7月頃からデータへ反映されてくるのではと考えます。

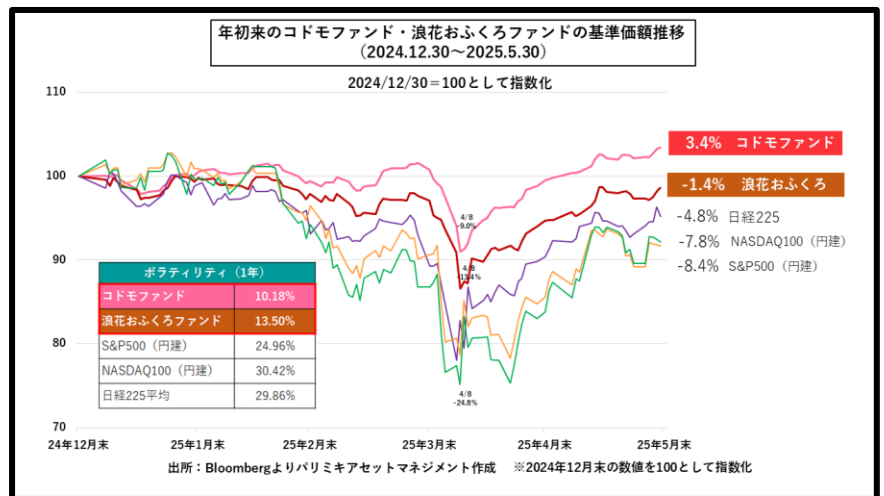
5月中旬に大手格付機関のムーディーズが米国を最上級のトリプルAからダブルA1へ格下げしましたが、既に他の大手2社が以前から格下げしていたなどの理由でマーケットには大きな反応はありませんでした。但し、元々トランプ大統領が関税を引き上げる根本の原因は米国の財政赤字・貿易赤字の抑制、債務残高減少を目的にしたものであり、米国の債務・信用問題は、引き続き中長期的なマーケットの懸念材料になると考えます。目先は、減税や債務上限引き上げを盛り込んだ“大きく美しい法案”は上院で7月上旬を目途に審議されているので、6月中は静観の状態となる可能性があります。

日本に関しては、ドル安円高で推移している割に日本株は底堅く、6月は配当金、自社株買いなどの需給面や、7月選挙の期待が浮上すれば、外的要因次第であるものの、今後も引き続き底堅い展開を想定します。

弊社のファンドは、4月の下落時からの反発を想定していたことから、キャッシュ比率を下げた状態で、この5月は殆ど組入れファンドの入れ替えを行っておりません。

今後の経済指標やマーケット環境を見ながら順次組み換えていく予定です。

パリミキアセットマネジメント
ファンドマネージャー
宇野 隆一郎



左記のQRコードよりXアカウントにアクセスいただけます。
パリミキアセットマネジメント【公式】
@PM_Asset



PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT

【5月の運用コメント】

基準価額は月間で+3.95%となり、年初来で+3.40%となりました。

個別ファンドの騰落率について、5月はゴールド・ファンド以外全てのファンドが上昇しました。上昇寄与度が大きかったのはモーラントが騰落率+5.55%、コムジェスト世界株式が同+6.41%、トリゴンが同+4.81%などでした。

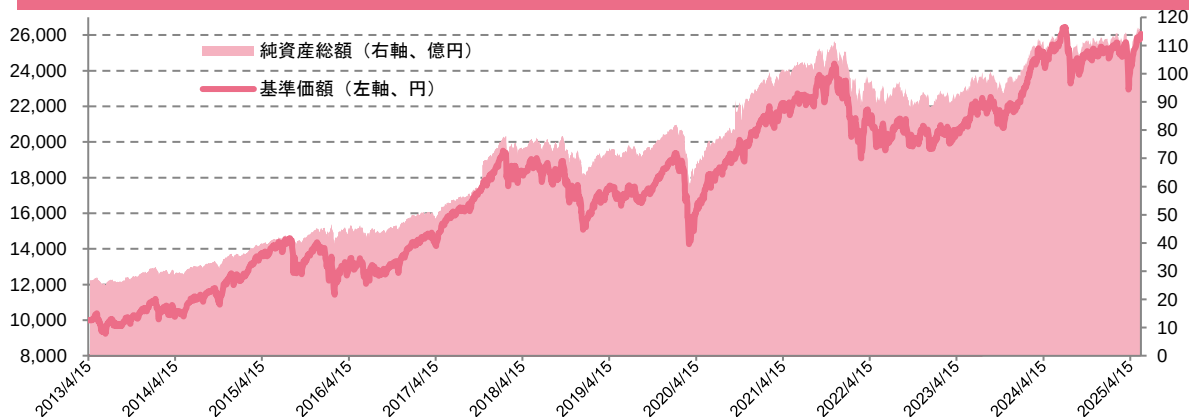
一方、唯一下落したピクテゴールドは騰落率▲0.70%でした。

月中の売買は特になく、キャッシュ比率は前月の5.04%から4.49%へ減少しています。

為替が、対ドルで約1.3円（+0.91%）円安へ、対ユーロでは約1.4円（+0.86%）円安へ推移したことにより、ポートフォリオを+0.24%引き上げたこととなります。

月末時点の外貨資産リスク（41%）に対する為替ヘッジ率は、31%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは28%となっています。

基準価額と純資産総額の推移



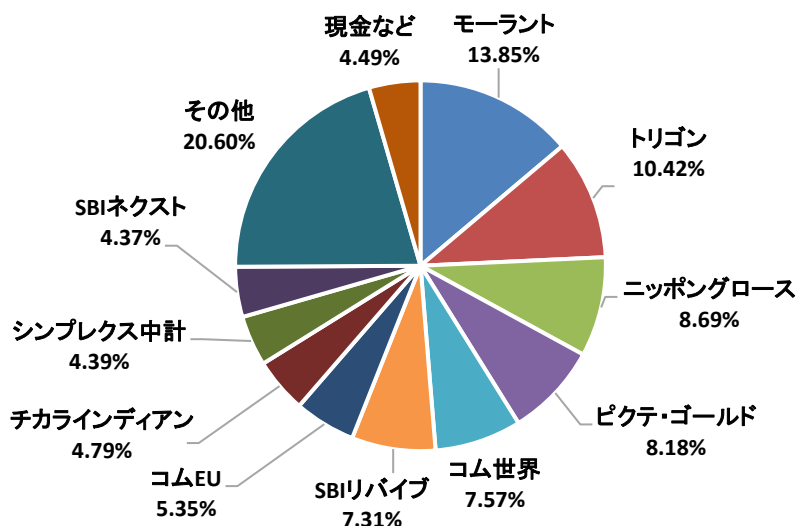
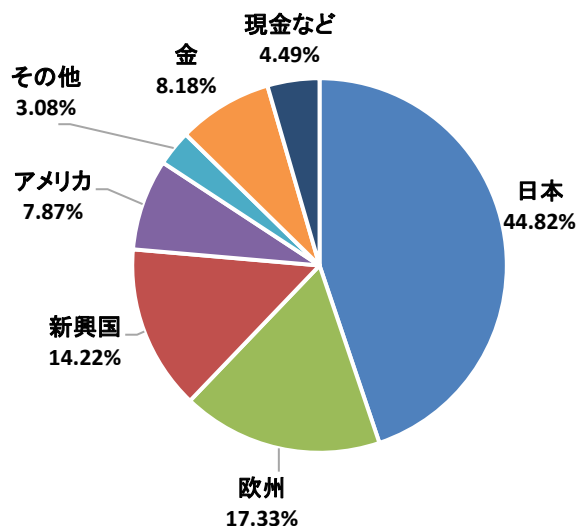
組み入れファンドTOP5 基準価額の前月比

モーラント	5.55%
トリゴン	4.81%
ニッポングローブ	5.28%
ピクテ・ゴールド	-0.70%
コムジェスト世界	6.41%

コドモファンド概況

基準価額	26,076円	設定日	2013年4月15日
純資産総額	11,720百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	10.18%	決算日	毎年2月25日 (休業日の場合は翌営業日)

資産構成比率(組入ファンド全20本)(左:国別、右:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
3.95%	4.02%	5.15%	4.00%	27.21%	48.13%	84.66%	160.76%
					(複利年率) (8.17%)	(複利年率) (6.32%)	(複利年率) (8.22%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用
(信託報酬)

年率1.10%(税抜き1.0%)

組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.75±0.5%(税込/概算)

【5月の運用コメント】

基準価額は月間で+4.13%となり、年初来で▲1.40%となりました。

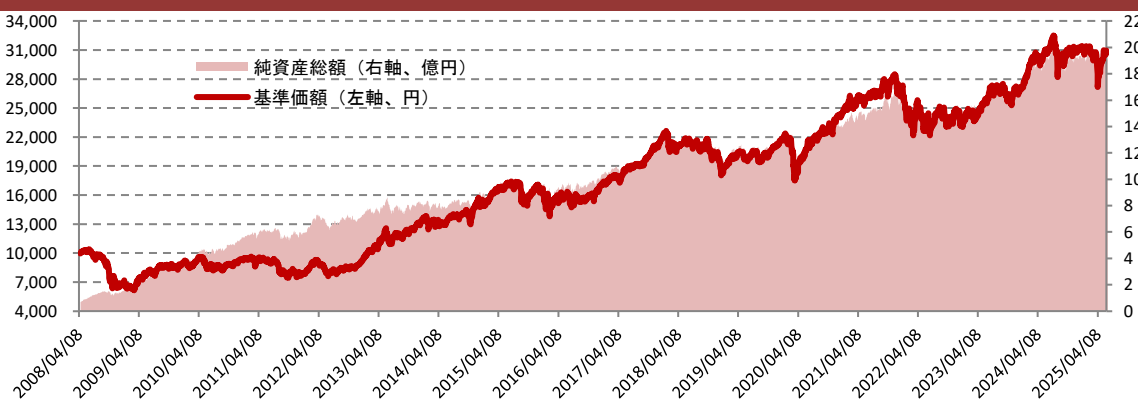
個別ファンドの騰落率について、5月は全てのファンドが上昇し、その中でも特に寄与が高かったのはコムジェスト世界株式が騰落率で+6.41%、シンプレクス中計が同+4.97%、SBIジェイリパイプが同+2.89%、トリゴンが同+4.81%などでした。

月中の調整以外に売買は特になく、キャッシュ比率は前月の4.63%から5.92%へ微増しています。

為替が対ドルで約1.3円（+0.91%）円安へ、対ユーロでは約1.4円（+0.86%）円安に推移したことにより、ポートフォリオ全体を0.33%引き上げたこととなります。

月末時点の外貨資産リスク（49%）に対する為替ヘッジ率は、24%で、全体のポートフォリオの内、ヘッジ後の外貨リスクは37%となっています。

基準価額と純資産総額の推移



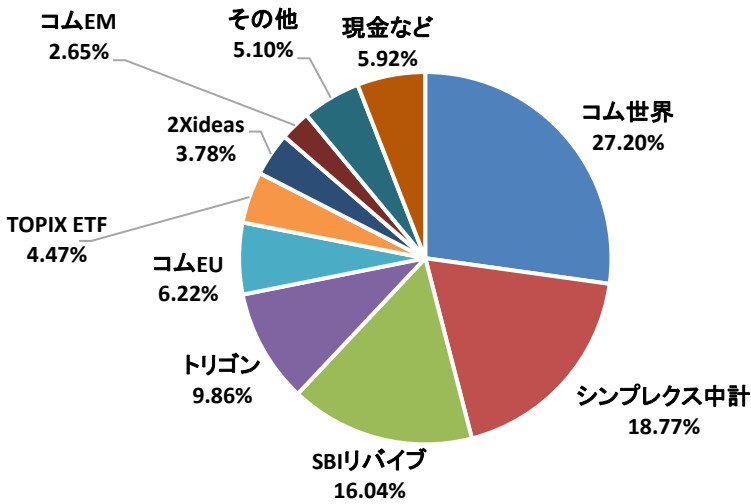
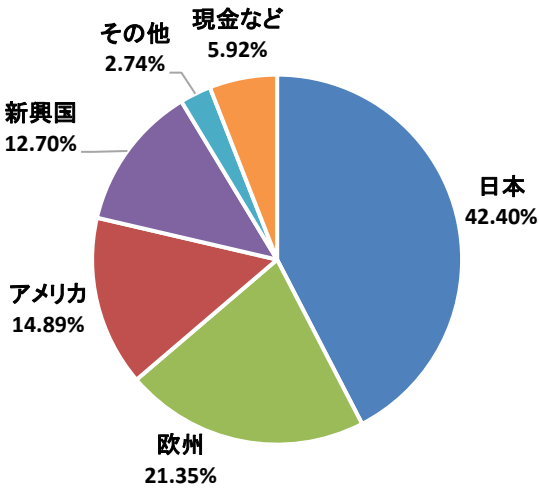
組み入れファンドTOP5
基準価額の前月比

コムジェスト世界	6.41%
シンプレクス中計	4.97%
SBIリパイプ	2.89%
トリゴン	4.81%
コムジェストEU	3.57%

浪花おふくろファンド概況

基準価額	30,965円	設定日	2008年4月8日
純資産総額	1,933百万円	信託期間	無期限
ボラティリティ(1年)	13.50%	決算日	毎年3月3日（休業日の場合は翌営業日）

資産構成比率（組入ファンド全11本）（左：国別、右：ファンド別）



期間別騰落率(%)

1ヵ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	10年	設定来
4.13%	0.73%	0.65%	1.11%	31.12%	48.39%	79.63%	209.65%
					(複利年率)	(複利年率)	(複利年率)
					(8.20%)	(6.03%)	(6.81%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用（信託報酬） 年率0.99%（税抜き0.9%）
組み入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.5%（税込/概算）

コドモファンド・浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売は株式会社パリミキアセットマネジメント／金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2727号
※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



いまこそ、自立のチャンス

今日、これまで国際秩序の安定を主導してきたアメリカが、自国第一主義に舵を切る動きは、世界に少なからぬ衝撃を与えています。そして日本でも、これまで長らく安定多数を維持してきた自民・公明の連立政権が、ついに過半数割れを起こし、次の選挙では政権交代の可能性もささやかれています。

長く続いた「安定」の土台が揺らぐいま、多くの人が「これからどうなるのだろう」と不安を感じているかもしれません。でも、私はあえて、こう問いかけたいのです。「この不安定な時代は、私たちが自分の足で立つチャンスではないか」と。

「依存」から「自立」へ

これまで日本は、外に内に、さまざまな意味で“依存”の構造のなかにありました。経済対策や地域振興は中央政府任せ。地方では「補助金が出るからやる」「国の制度に合わせる」といった考え方が当たり前のようになり、日本人が頼りにしている国家も、外交・安全保障を中心にアメリカに頼るのが当たり前になっていました。その結果、いつしか「自分で考える」「自分で責任を取る」という意識が薄れていったように思います。しかし、その「親」のような存在だった日本国家やアメリカも、これまで通りに面倒を見てくれるとは限らない時代になっています。つまり、私たちは今、否応なく自分で考えて、自分の責任で動く「自立」の時代の入り口に立たされているのです。

スイスに学ぶ自立心

実はこの「自立」については深い思いがあります。私が最初に書いた『スイス人が教えてくれた「がらくた」ではなく「ヴィンテージ」になる生き方』という本がありますが、そのきっかけは、日本人とスイス人はとても似ているのに、どうしてこれだけ豊かさには差が出ているか、という疑問からでした。当時2016年ごろで一人あたりGDPが2.5倍、今や4倍以上もの差がついています。結局、この最大の要因がスイス人の「自立心」ではないか、ということを見出したのです。

これに最初に気づいたのが、スイスの医療保険制度からでした。日本のように少ない個人負担で誰でも手軽に医療サービスを受けられるのとは異なり、ある一定金額までは全額自己負担、ある上限を超えると一割自己負担になるという制度です。ですから子供が風邪をひいても、当時のお金で15,000円くらい、今だと25,000円以上という高額の負担となります。そのため、風邪や病気にならないよう、普段から努力することになり、結果として病気にもならず、医療費も節約できました。

これ以外にも調べてみると、出るは出るは、スイスの人々が国に頼るのではなく、皆で国を支えている仕組みや考え方が隅々に浸透している事実にびっくりしました。詳しくはぜひ拙著をご覧ください。



自立の第一歩は「お金」と「健康」から

では、どこから「自立」を始めれば良いでしょうか。まずは「お金」と「健康」の自立から始めてはいかがでしょうか。このコラムをご覧の方は、既に「お金から自由になるため」に自立の道を歩んでいらっしゃると思います。一方「健康」ですが、実は、日本が誇る国民皆保険制度も今や存続の危機に瀕しています。財政難を理由に薬価や医療点数が長年抑えられる一方で、コストや人件費の高騰により病院経営が逼迫しており、今後は自由診療が主体の時代が来ようとしています。そういう時代だからこそ、自ら生活習慣を正すことで、具体的には「食」「運動」「睡眠」に気を付けることで、医療の世話にならない健康自立者を目指してはいかがでしょうか。

不確実性の時代を希望に変える

私たちはいま、大きな時代の節目に立っています。「もう国には頼れない」「アメリカにも期待できない」と嘆くのではなく、「だからこそ、自分たちでやってみよう」と思えるかどうか。その意識の転換こそが、次の時代をつくる一歩になるはずです。

誰かが敷いてくれたレールを歩くのではなく、自分たちの手で、これからの道を切り拓いていく——そんな時代が始まっています。この転換期を、恐れるのではなく、希望として迎えていきましょう。



(株)パリミキホールディングス
代表取締役会長
多根 幹雄



あいのり仲間

カッコいいお金の使い方 たねころ山農園

私は独立系投信会社のいろんなイベントに参加したり、企画したこともあります。過去には、鎌倉投信の鎌田恭幸社長にお願いして「鎌倉の隠れた名所を訪ねる」イベントを企画したこともあります。

その流れで、多根会長にも「たねころ山農園に招待してください」とわがままを言いました。しかし、仕事が入ったりして参加できず。この度、開園 8 周年で初参加となりました。参加が大変遅くなりましたことを、この場を借りてお詫びします。



内山 節（たかし）という 1970 年代から東京と群馬県の上野村で二重生活を続けている哲学者がいます。上野村では畑を耕し、森を歩きながら暮らしているという話です。「内山の上野村における生活はこんなイメージかな」とたねころ山農園で収穫した野菜や果物と磯野社長のパンを食べながらそんなことを私は考えていました。さらに、リトルサンセットの小暮義雄さん（[ログハウスビルダー Little Sunset woodworks Official Website](http://LittleSunsetwoodworks.com)）から、現地に設置した石窯のエピソードをうかがうという貴重な機会にも恵まれました。また、弘子さん（多根会長の奥様）のご厚意で有志が掘った筍や収穫した果物までもお土産にいただきました。ありがとうございます。

毎年宇佐美海岸で行われる（今年は 8 月 3 日）の花火もたねころ山からよく見えるという話です。是非次回は、8 月の花火大会にあわせて日帰り & 宿泊でお願いしたいと厚かましくもリクエストします。

たねころ山農園の経緯と多根会長の思いがパリミキ AM の HP「あいのりブログ」2019 年 12 月 10 日（https://pmam.co.jp/blog/post_513/）に、弘子さんのたねころ山農園に対する思いが日本国際薬膳師会の「薬膳インタビュー」2019 年 12 月号（https://yakuzenshi-kai.jp/interview/006_tane.html）に掲載されています。ネット上でも読めますのでご一読ください。

池崎 毅

池崎様とは、2013 年秋だったと思いますが、澤上さんの応援を得て、五反田で開催した初めての我々のセミナーでお会いしたのが最初です。その後、時々、銀座のセミナーにもご参加いただいていたのですが、新しいオフィスになってから久しぶりに、今年ご参加いただき、たねころ山農園ツアーにご参加いただきました。日帰りのイベントでしたが、大変興味を持っていただいて、いろんな方と交流されていたのが印象に残っています。次回から、いろいろ参画いただきたいですね。よろしくお願いいたします。

磯野

新NISAについて

少額投資非課税制度



NISA（少額投資非課税制度）とは

NISAとは投資で得られた利益（売却益）に税金がかからない制度です。

課税口座（一般口座、特定口座）での投資では得られた売却益に約20%※の税金がかかりますが、NISAで運用した場合は売却益に対して税金がかかりません。

その分、手取り額として手元に残る金額が多くなる点が特徴です。

※20.315%

（所得税及び復興特別所得税15.315%、住民税5%）

NISA 口座を利用しない運用



受け取れる金額 **8万円**

NISA 口座で運用



受け取れる金額 **10万円**

詳しくはホームページを
ご覧ください



コドモファンドと浪花おふくろファンドは新NISA「成長投資枠」の対象です

新NISAでは「つみたて投資枠」と「成長投資枠」があり、それぞれ運用できる限度額と投資対象商品が設定されています。

コドモファンドと浪花おふくろファンドは「成長投資枠」の対象商品です。

「つみたて投資枠」での購入はできません。

「成長投資枠」について

年間投資上限	非課税保有期間	非課税保有限度額	投資対象商品	対象年齢
240万円	2024年1月～ 無期限	1200万円	上場株式 投資信託など	18歳以上※

※1月1日時点で18歳の日本居住者

(1月2日以降に18歳になる場合は翌年からNISA口座の開設が可能です)

お客様サポートチームからの大切なお知らせ

【交付運用報告書発送のお知らせ】

コドモファンドの決算を2025年2月25日、浪花おふくろファンドの決算を3月3日に行いました。つきましては、ファンドの運用状況等をご報告する「交付運用報告書」を対象のお客様に、発送または電子交付いたしました。ご確認くださいませようお願い申し上げます。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者（投資者）の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

毎月つみたてスケジュール

次回引落日は、**7月7日（月）**です。

7月分金額変更・中止・再開締切日… **6月24日（火）**

8月分新規・口座変更締切日… **7月2日（水）**

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話・マイページ上（再開を除く）でも承っております。

再開につきましては、書類でのお手続きとなりますので、お電話・マイページ上・ホームページ上にて用紙をご請求ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありません。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は株式会社パリミキアセットマネジメントが運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 当資料中に示された数値は、作成基準日現在において入手可能なデータを参照し、弊社にて計算しております。



株式会社パリミキアセットマネジメント
お客様サポートチーム

(受付時間：平日9時～17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル:0800-5000-968

E-mail: support@pmam.co.jp

PARIS MIKI ASSET MANAGEMENT